

結果の意義

項目	意義								
BMI	<p>体格指数 Body Mass Index の略で体重 (kg) /身長 (m)²で算出します。</p> <table border="1"> <tr> <td>BMI</td> <td>～18.4</td> <td>18.5～24.9</td> <td>25.0～</td> </tr> <tr> <td>判定</td> <td>やせ</td> <td>正常</td> <td>肥満</td> </tr> </table>	BMI	～18.4	18.5～24.9	25.0～	判定	やせ	正常	肥満
BMI	～18.4	18.5～24.9	25.0～						
判定	やせ	正常	肥満						
標準体重	身長 (m) ² ×22 で算出します。BMI が 22 近辺の時に、病気の合併が最も少ないという日本における疫学調査成績に基づいています。								
腹囲	へその高さで測定します。男性 85.0cm 以上、女性 90.0 cm 以上で内臓脂肪型肥満の疑いがあります。内臓脂肪が過剰に蓄積すると動脈硬化が進行します。								
内臓脂肪面積	DUAL インピーダンス法にて測定。肥満学会のガイドラインでは BMI が 25 以上、内臓脂肪面積が 100cm ² 以上あれば内臓脂肪型肥満と診断されます。								
血圧	<p>血液が血管を流れる時に血管の壁に与える圧力を「血圧」といいます。心臓が収縮して血液を送るとき、血管に加わる圧力を「収縮期血圧」、心臓が拡張して、送り出した血液が心臓に戻って来た時に血管に加わる圧力を「拡張期血圧」といいます。高血圧になると心臓に負担がかかり、血管は傷み、動脈硬化が進行します。</p>								
中性脂肪	消費されなかった余分な中性脂肪は、皮下脂肪や内臓脂肪として蓄えられます。高値の場合は、脂肪肝の合併が多く、動脈硬化を促進します。								
LDL コレステロール	LDL は、肝臓で合成されて、全身に運ばれ、血管壁にたまっていくことから、悪玉コレステロールとも呼ばれます。LDL コレステロールが高値の場合、動脈硬化が進行します。								
HDL コレステロール	HDL は血液中の余分なコレステロールを回収して肝臓に運搬・処理するため、善玉コレステロールとも呼ばれます。HDL コレステロールが低値の場合、動脈硬化が進行します。								
尿酸	体内の新陳代謝の過程で生まれる老廃物です。高尿酸血症は痛風、尿路結石などの原因になります。								
血糖	血液中のブドウ糖濃度です。糖尿病の疑いがあるかどうかを調べます。食後では高くなります。								
白血球	外部から侵入したウイルスや細菌などの異物を攻撃する細胞です。炎症性疾患、血液のガン、喫煙等で増加します。								
赤血球	赤血球、血色素、ヘマトクリットは貧血の検査です。低値の場合は、鉄欠乏性貧血等が疑われます。								
血色素									
ヘマトクリット									
血小板	止血させる作用があります。血小板数が少なくなると、出血しやすくなります。あるいは、止血しにくくなります。								